

取扱説明書 (国内販売用)

長首自動ガン RW1-A

この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。
使用時に不用意な塗料の噴出や、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起こすことがあります。
△印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。

警告	警告内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
注意	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。
重要	この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。尚、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則又、それぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

重要

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項および取扱い方法について記載しています。
この取扱説明書で扱われている機器は、塗装業務用途の商品です。
他の用途には使用しないでください。
正しい取扱指導を受けられ、機械の操作方法を理解された方以外の人は、使用しないでください。
ご使用前に、必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。
本書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

重要仕様

最高使用圧力	0.70MPa
騒音値	66.8dB(A)
吹付条件	推奨条件
測定位置	スプレーガンより後方へ 1m 地面より高さ 1.6m
使用温度範囲	雰囲気温度 5~40℃ 流体温度 5℃~43℃(液体、気体)

当社が製造するスプレーガン、エアブラシ等は使用される国や地域毎によって定められている法令に適合している必要があります。これに違反する場合、販売者およびユーザーが罰せられる場合がございます。当社では各国の法令への対応を現地グループ会社で実施しております。
国内販売店にてご購入いただきました製品を、当該国へ販売および転売した場合に生じる輸入通関や法令違反に伴う罰則、事故による補償につきましては、当社は直接、間接を問わず一切の責任を負いません。

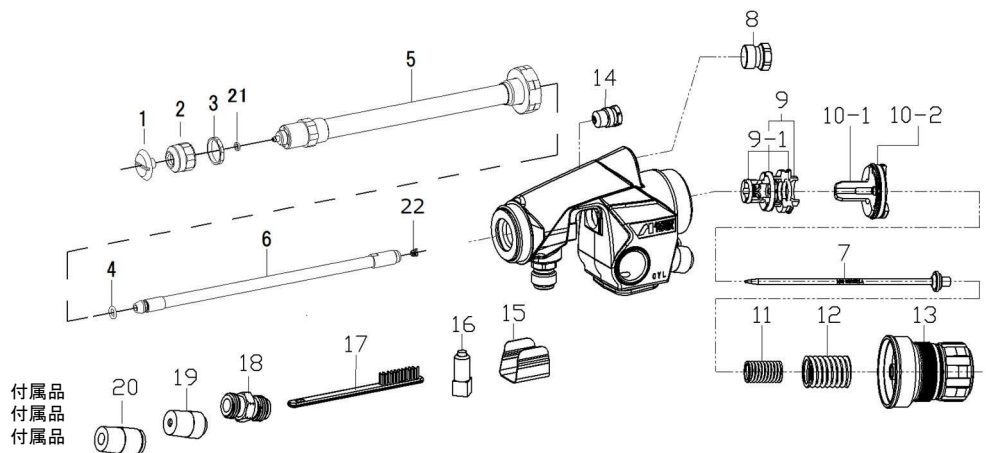
形式	塗料供給方式	吐出口径 (Φmm)	偏向板角度 (°)	首長さ (mm)	接続口径
RW1-A-20□□□□-□	圧送式	0.7 X12ケ	180	150	【空気】 霧化エアΦ8 作動エアΦ6 【塗料】 G1/4
				300	
			150	150	
				500	

RW1-A-20□□□□ - □

首長さ (mm)	偏向板角度 (°)
150	1 : 180
300	2 : 150
500	

部品名称

No.	品名	数量
1	偏向板	1
2	空気キャップ	1
3	ジャミナット	1
4	Oリング	1
5	空気パイプセット	1
6	塗料パイプセット	1
7	ニードル弁 ASSY	1
8	プラグ	1
9	空気弁シートセット	1
9-1	Oリングセット	1
10-1	ピストン	1
10-2	ピストンパッキン	1
11	ニードル弁ばね	1
12	ピストン押しばね	1
13	塗料調節装置	1
14	ニードル弁パッキンセット	1
15	防塵カバー	1
16	ボルトセット	2
17	掃除用ブラシ	1
18	空気ニッブル	2
19	ハーフユニオン (φ6)	1
20	ハーフユニオン (φ8)	1
21	パッキン	1
22	ニードル弁ガイドばね	1
23	取扱説明書	1



◆の部品は消耗品です。
※[22 ニードル弁ガイドばね]は首長さ 498mm 以上のみ使用します。
◎部品御注文の際は、スプレーガン形式及び上記No.品名を御指定ください。
◎ 開封時、破損や欠品がないことを確認してください。
◎ 欠品、輸送上の損傷がある場合は、危険防止のため使用せず、お買い求めになった販売店又は当社支店・営業所・サービス会社までご連絡ください。

■ 安全にご使用いただくための警告事項

⚠ 警告	
火災と爆発	
<ol style="list-style-type: none"> 吹き付け作業場は、火気厳禁です。 <ul style="list-style-type: none"> 塗料は引火性があり火災の危険性があります。 たばこ、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは必ず避けた所でご使用ください。 次のハロゲン化炭化水素系溶剤は使用しないでください。 化学反応により、本体(アルミニウム部分)にクラック、溶解が発生します。 ・不適合溶剤: 塩化メチル、塩化エチル、二塩化メチレン、二塩化エチレン、四塩化炭素、トリクロロエチレン、1,1,1トリクロロエタン 等 (特殊な塗料やシンナーは充分適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リストを提出する用意があります。) 自動ガンには、ガンステーからのアースの接続やアース線入りホースを使用する等、確実にアースを接続してください。アースが不十分ですと、静電気のスパークによる火災、爆発の危険性があります。 	 
機器誤用	
<ol style="list-style-type: none"> 絶対に人や動物に向けてスプレーしないでください。目や皮膚の炎症、人体への危険があります。本製品は、塗料が真直には噴出せず、斜めに噴出しますので吹付時はガン先端側にはたたないでください。 最高使用圧力以上のご使用は絶対に避けてください。 洗浄、分解、保守作業をする前及び作業中断時には必ず塗料と空気の圧力を逃がしてください。圧力が残っていると、誤動作、洗浄液の飛散により人体に危険があります。圧力を逃がす方法は、スプレーガンへの圧縮空気、塗料、シンナー等の供給を停止します。次に、ピストン作動用空気のみを供給し、ニードル弁を動かすことにより塗料を排出し、すべての圧縮空気の供給を停止します。 メンテナンスの際、ニードル弁 ASSY の先端には触らないでください。ニードル弁 ASSY の先端は鋭く尖っており、怪我をする恐れがあります。 	
人体保護	
<ol style="list-style-type: none"> 吹き付け作業は、塗装ブース等を使用し、換気の良いところで使用してください。換気が不十分ですと有機溶剤中毒や引火の危険が増えます。 常に適切な服装または保護具を着用してください。(眼鏡、マスク、手袋) 目や皮膚に洗浄液等が付き炎症を起こします。目や皮膚に異常を感じたら直ちに医師の治療をうけてください。 健康安全上耳栓の着用をお奨めします。使用条件、作業環境により、騒音値が80dB(A)以上になる場合があります。 	    
その他	
<ol style="list-style-type: none"> 製品の改造はしないでください。十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。 他の装置(ロボット、レスプロ、等)の作動範囲内で作業をする場合は、装置の停止を確認してから行ってください。ロボットやレスプロとの接触だけがをすることがあります。 食品用や化学薬品用には使用しないでください。塗料通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康障害の可能性があります。 異常を発見したら直ちに使用を停止して原因を調査してください。異常が解決されるまでは再使用しないでください。 	

■ 接続方法

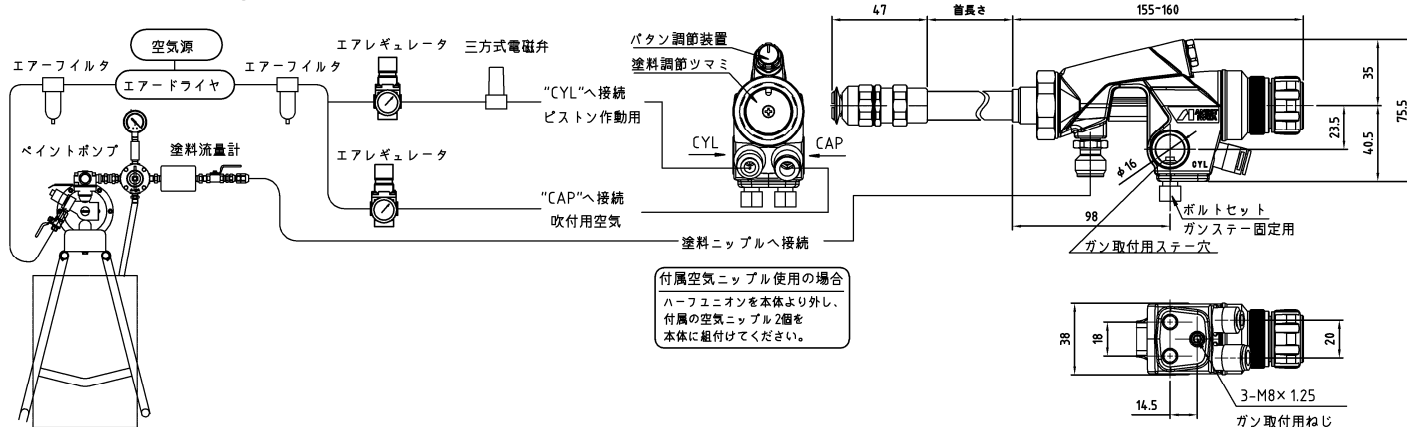
⚠ 注意	
<ul style="list-style-type: none"> エアードライヤやエアフィルタを通したきれいな圧縮空気を使用してください。塗装作業に使用する空気が汚れていると、塗装不良を起こします。 購入後初めてご使用の場合は、塗料通路内部の防錆油を取り除くため、シンナーを吹いて内部の洗浄を行ってください。防錆油が残っていると、はじき等塗装不良の原因となります。 三方式電磁弁の有効断面積はφ4相当以上及び、エアホースは内径φ6以上10m以内としてください。三方式電磁弁の排出空気容量があまり小さいもの及び三方式電磁弁と自動ガンまでのエアホースを長くすぎたりすると、作動、停止に多少の遅れが起こります。 ホースは、自動ガンにしっかりと固定してください。ホースのはずれ、容器の落下により、人体に傷害を及ぼす可能性があります。 空気パイプセット先端はぶつけないでください。空気パイプセット損傷により、塗装不良や人体に損傷を及ぼす可能性があります。 	

- 作業 1 自動ガンを取付ステーに取付け、目的の吹付方向に向けてから固定します。
- 作業 2 吹付空気側(CAP刻印側)に吹付用エアホースを、作動空気側(CYL刻印側)に作動用エアホースを接続します。
- 作業 3 塗料ホースを塗料入口側に接続します。
- 作業 4 自動ガンにシンナーを供給し吹付けを行い、自動ガン等の塗料通路をシンナー洗浄します。
- 作業 5 自動ガンに塗料を供給し、塗料の試し吹きを行い空気量、塗料噴出量を調節します。

■ 調整方法

- 作業 1 作動圧力 0.29～0.39MPa に設定します。
- 作業 2 吹付空気圧力は塗料の粘度、性質により異なりますが、概略 0.20～0.34MPa に設定します。
- 作業 3 塗料粘度は、塗料の性質、作業条件により異なりますが、粘度カップ(NK-2)で 15～23 秒程度が適当です。

[空気・塗料ホース接続例]



■ 保守・点検

警告

- 安全にご使用頂くための警告事項の機器誤用3項に従い、圧力を完全に逃がしてから作業してください。
- 十分理解され、熟達された方が行ってください。

保守時の作業手順	重要
1 残った塗料を他の容器に移した後、少量のシンナーにて吹き付けを行い塗料通路の洗浄を行います。	1 洗浄不良はパターン形状や粒子の不具合の原因となります。特に二液塗料をご使用後は素早く入念に洗浄してください。
2 各部の洗浄はシンナーで浸したブラシで行い、ウエス等でふき取ります。	2 自動ガン全体をシンナー等の液中に浸さないでください。長時間浸漬した場合、構成部品の損傷の原因となります。なお、洗浄時には塗料パイプセット、ニードル弁 ASSY 及び偏向板の各噴出穴には絶対にキズを付けないでください。
3 分解する前には塗料通路内部を十分洗浄します。	3 分解した時、シート部に傷を付けないように注意してください。
(1) 空気パイプセット・塗料パイプセットの分解 空気パイプセットは半径 32 六角部を、塗料パイプセットは半径 9 二面部をスパナで緩めます。	(1) 塗料パイプセットを外す時は、シート部保護のため作動エアを入れ、ニードル弁 ASSY を引いた状態で行ってください。
(2) ニードル弁 ASSY の分解 塗料調節装置を外し、ニードル弁 ASSY を本体セットより引き抜きます。塗料調節装置は、ニードル弁ばね及びピストン押しばねで強く押されているため分解時、ばねが飛び出さないように注意してください。	(2) ニードル弁 ASSY を引き抜く時は、ニードル弁/パッキンセットの保護のためニードル弁/パッキンセットを緩めてから行ってください。
(3) ピストンセットの分解 ニードル弁 ASSY 後部のねじをピストンセットにねじ込みピストンセットを引き抜きます。	(3) ピストンセットを引き抜く時は、ピストンパッキンに傷を付けないように注意してください。
(4) 空気弁シート ASSY の分解 市販のボックスレンチ(半径 14)を使用してください。	(4) 空気弁シートセットを分解する時は、シート部、Oリングに傷をつけないように注意してください。
4 ニードル弁パッキンセットの分解組立 ニードル弁パッキンセットを調節する時は、ニードル弁 ASSY を挿入したままで一旦、手で締め込みます。手で締まった所からスパナで再度締め込みます。スパナで締める目安は、手で閉めて止まった所から 1/6 回転程度です。ニードル弁パッキンセット交換時 先端部分が本体に残る場合がありますので確認してください。	4 ニードル弁パッキンセットは締め過ぎるとニードル弁 ASSY の動きが悪くなり塗料先端漏れの原因となります。作動エアを ON/OFF させ、ニードル弁 ASSY の動きを確認しながら調節してください。万が一、締めすぎってしまった時は、ニードル弁パッキンセットを完全に緩めてからもう一度締め直してください。
5 パターン調節装置の分解組立 調節装置を全開にしてから本体 ASSY にねじ込みます。	5 パターン調節装置を取りつける時は、つまみを全開にしないと、パターン調節装置の先端が先に本体にぶつかり、損傷の原因となります。
6 塗料調節装置についての注意点	6
(1) 本体への取付 装置を全開にした状態で、ねじ部にシリコンフリーのグリス又は、オイルを塗布して行います。取付/取外しはローレット部を回して行ってください。	(1) 塗料調節装置を取り付ける時は、つまみを全開にしないと、ニードル弁 ASSY の先端シート部が塗料ノズルとぶつかり、損傷の原因となります。ねじ部にグリス又は、オイルを塗布しないと、カジリの原因となります。
(2) 調整方法 調節はつまみを回して行ってください。全開の目安は、ガイド~つまみ間の隙間は 2mm です。それ以上に締めすぎないように注意してください。	(2) つまみを締め過ぎると、ノズルが変形してしまいます。
(3) その他 塗料調節装置は分解しないでください。	(3) 塗料調節装置を分解してしまうと、部品紛失などで再組立てできなくなる恐れがあります。

点検箇所	部品交換基準
1 空気パイプセットおよび塗料パイプセットの各穴の通路	つぶれ、変形がある場合は交換。
2 パッキン、Oリング類	変形、摩耗の場合交換。
3 塗料パイプセット、ニードル弁 ASSY 間のシート漏れ	塗料パイプセット、ニードル弁 ASSY の洗浄を十分行っても、漏れがある場合交換。 塗料パイプセット単品、ニードル弁 ASSY 単品で交換する場合は摺り合わせを実施し、漏れがないことを確認してください。

パターン	原因	対策
 息切れ	(1) 塗料パイプセットと本体のテーパシート間より空気が混入。 (2) ニードル弁パッキンセットからのエア吸込み。 (3) 塗料容器取付けナット又は塗料ホース継手部よりの空気の混入。	(1) 塗料パイプセットを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。尚、シート部にキズがある場合は塗料パイプセットを交換してください。 (2) ニードル弁パッキンの締め増しを行ってください。 (3) 継手部の締め付けを確かめ完全に行ってください。
 スピット	(2) 塗料噴出量が少なすぎる。 (1) 塗料パイプセット、ニードル弁 ASSY のシート不良。 (2) 一段吹き(空気のみ噴出)の減少。 (3) 空気パイプセット内部の塗料汚れ。	(2) 塗料調節つまみを左に回し噴出量を多くしてください。 (1) 洗浄又は、塗料パイプセット、ニードル弁 ASSY の交換をしてください。 (2) 塗料パイプセット、ニードル弁 ASSY の交換をしてください。 (3) 空気パイプセットの洗浄をしてください。

状況	発生箇所	チェック箇所	原因	締め増し	調整	洗浄	部品交換
塗料漏れ	自動ガン先端部	塗料パイプセット ~ ニードル弁 ASSY	シート面のゴミ・キズ・摩耗 塗料調節つまみの緩めすぎ ニードル弁ばねのヘタリ		○		○
		塗料パイプセット ~ 本体 ASSY	締め付け不良 シート面のゴミ・キズ	○		○	○
		ニードル弁パッキンセット	ニードル弁パッキンセットの締め付けすぎによるニードル弁 ASSY 戻り不良 ニードル弁 ASSY への塗料の固着 ニードル弁 ASSY 戻り不良		○	○	○
	ニードル弁パッキン部	ニードル弁パッキンセット~ニードル弁 ASSY ニードル弁パッキンセット	摩耗 締め付け不良	○			○
塗料出ず	自動ガン先端部	塗料調節装置	開度不足		○		
		塗料パイプセット	孔の詰まり・ゴミ・固着			○	
		ニードル弁パッキンセット~ニードル弁 ASSY	塗料固着 ニードル弁パッキンセットの締め付けすぎ		○		○
空気弁漏れ (空気パイプセット先端からのエア漏れ)	空気弁 ASSY ~ピストン部	ピストン	シート面のゴミ・キズ			○	○
		空気弁シート ASSY	シート面のゴミ・キズ 空気弁ばねのヘタリ			○	○
		Oリング	劣化、キズ				○

■ 保証と修理サービス

- ・保証期間は、お買いあげの日から6ヶ月です。
- ・万一、故障の場合は、お買いあげの販売店又は当社支店にご連絡ください。保証期間中は、無償修理いたします。
- ・本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次損失に対する補償は致しませんのでご了承願います。
- ・次の場合は保証期間内でもお客様のご負担(有償)になります。
 - ・取扱説明書の注意事項を守られなかったことによる故障および損傷 / お客様の取扱上の不注意による故障および損傷 / 消耗品の交換・修理
 - ・天災、地震、火災、地震、水害、塩害、落雷、公害などによる故障および損傷 / 純正部品以外の部品が使用されている場合 / 指定の修理店以外による修理がなされている場合
- ・保証は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan

【免責事項】

本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次的、派生的または間接的な損害に対する補償はいたしかねますのでご了承をお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

・電話でのお問い合わせ

アネスト岩田コンタクトセンター

0800-100-1926

<受付時間: 8:45~12:10/13:00~17:30 但し、土日・祝日・当社指定休日を除く>

・メールでのお問い合わせ <https://www.anest-iwata.co.jp>

各種お問い合わせ先は変更する場合がございますので、最新のお問い合わせ先につきましては当社ホームページをご覧ください。

アネスト岩田株式会社

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176
ホームページ <https://www.anest-iwata.co.jp>

取説 No. T1140-02
コード No. RW1-A-M1

INSTRUCTION MANUAL

Auto Spray Gun

RW1 – A

Important

Be sure to observe warnings and cautions in this instruction manual. If not, it can cause paint ejection and serious bodily injury by drawing organic solvent. Be sure to observe following ⚠ marked items which are especially important.	
⚠ WARNING	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in serious injury or loss of life.
⚠ CAUTION	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in minor or moderate injury or property damage.
Important	Indicates notes which we ask you to observe. The safety precautions in this instruction manual are the minimum necessary conditions. Follow national and local regulations regarding fire prevention, electricity and safety as well as your own company regulations.

This manual contains **IMPORTANT WARNINGS** and **INSTRUCTIONS**. Equipment in this manual is exclusively for painting purposes. Do not use for other purposes. The operator shall be fully conversant with the requirements stated in this instruction manual including important warnings, cautions and operation and correct handling. Read and understand the instruction manual, before use and retain for reference.

IMPORTANT WARNING: Our spray guns, airbrushes, and other products are made to conform by our local group companies with local laws and regulations that may differ from place to place. Improper trade of products outside of designated domestic territories (unauthorized reselling) can result in legal violations, local fines, and penalties. ANEST IWATA CORPORATION assumes no liability for products acquired through unauthorized reselling and in such cases and due

Important specifications

Max. Pressure	0.7MPa / 7.0bar / (100PSI)
Noise level	83dB (A)
Spray condition	Recommended
Measuring point	1m backwards from gun, 1.6m height

Max. Temperature	
Atmosphere	5°C~40°C
Air · Fluid	5°C~43°C

Main specifications

Model	Type of feed	Outlet orifice ϕ mm (in)	deflection Angle(°)	Air Pipe length mm (in)	Air & fluid Connection	Mass g (lbs)
RW1-A-20□□□□-□	Pressure	0.7(0.028) x12	180	150(5.9)	Air Atomizing air: $\Phi 8$ Operation air: $\Phi 6$ Fluid G1/4 (NPS1/4)	455 (1.00)
				300(11.8)		505 (1.11)
			150	500(19.7)		575 (1.27)

RW1-A-20□□□□-□	
length(mm)	deflection angle(°)
150	1:180
300	1:180
500	2:150

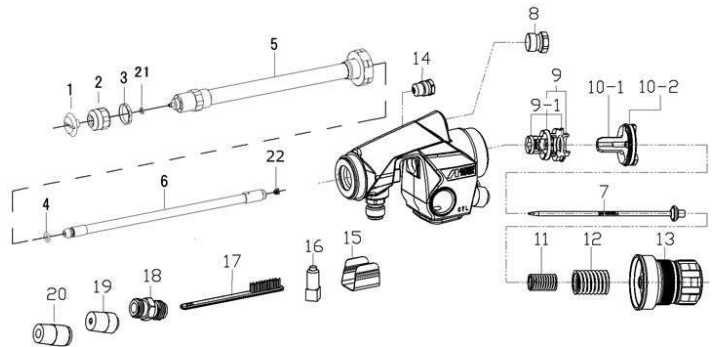
Parts list

Parts list

No.	Description	Q'ty
1	Deflection plate	1
2	Air cap	1
3	Jam nut	1
4	O-ring	1
5	Air pipe assy	1
6	Fluid pipe assy	1
7	Fluid needle assy	1
8	Plug	1
9	Air valve seat assy	1
9-1	O-ring set	1
10-1	Piston	1
10-2	Piston packing	1
11	Needle spring	1

No.	Description	Q'ty
12	Piston Spring	1
13	Fluid Adj. assy	1
14	Fluid needle packing set	1
15	Cover	1
16	Bolt set	2
17	Brush	1
18	Air nipple	2
19	Half union($\Phi 6$)	1
20	Half union($\Phi 8$)	1
21	Packing	1
22	Fluid needle guide	1
23	Instruction manual	1

◆ Marked parts are wearable parts.



◎ Fluid needle guide (No.22) is equipped only 498 mm long nozzle model with.
 ◎ When ordering parts, specify the spray gun model and the part number above.
 ◎ When receiving the spray gun, make sure that it has not been damaged during transport or storage and also check that all the above contents are inside the box.

■ Safety precautions

WARNING

Fire and explosion

1. Spark and open flames are strictly prohibited.

Paints can be highly flammable and can cause fire.

Avoid any ignition sources such as smoking, open flames, electrical goods, etc.

2. Never use the following HALOGENATED HYDROCARBON SOLVENTS.

which can cause cracks or dissolution on gun body (aluminum) by chemical reaction.

- unsuitable solvents : methyl chloride, dichloromethane, 1,2-dichloroethane, carbon tetrachloride, trichloroethylene, 1,1,1-trichloroethane

(Be sure that all fluids and solvents are compatible with gun parts.)

We are ready to supply a material list used in the product)

3. Ground spray gun securely.

Use a grounded gun stay. Ground resistance: Less than 1MΩ. Check the stability of grounding condition periodically.

If not, insufficient grounding can cause fire and explosion due to static electric sparking.



Improper use of equipment

1. Never point gun toward people or animal.

If done, it can cause inflammation of eyes and skin or bodily injury.

2. Never exceed maximum operating pressure and maximum operating Temperature.

3. Be sure to release air and fluid pressures before cleaning, disassembling or servicing.

If not, remaining pressure can cause bodily injury due to improper operation or scattering cleaning liquid.

In order to release pressure, first stop supply of compressed air, fluid and thinner to spray gun.

Then remove trigger toward you.

4. Tip of fluid needle set has a sharp point.

Do not touch the tip of fluid needle during maintenance for the protection of the human body.



Protection of human body

1. Use in a well-ventilated site by using spray booth.

If not, poor ventilation can cause organic solvent poisoning and catch fire.

2. Always wear protective gear (safety glasses, mask, gloves).

If not, cleaning liquid, etc., can cause inflammation of eyes and skin.

If you feel something wrong with eyes or skin, immediately see a doctor.

3. Wear earplugs if necessary.

Noise level can exceed 80dB(A), depending on operating conditions and painting site



Other precautions

1. Never alter this spray gun.

If done, it can cause insufficient performance and failure.

2. Enter working areas of other equipment (robots, reciprocators, etc.) after machines are turned off.

If not, contact with them can cause injury.

3. Never spray foods or chemicals through this gun.

If done, it can cause accident by corrosion of fluid passages or adversely affect health by mixed foreign matter.

4. If something goes wrong, immediately stop operation and find the cause. Do not use again until you have solved the problem.

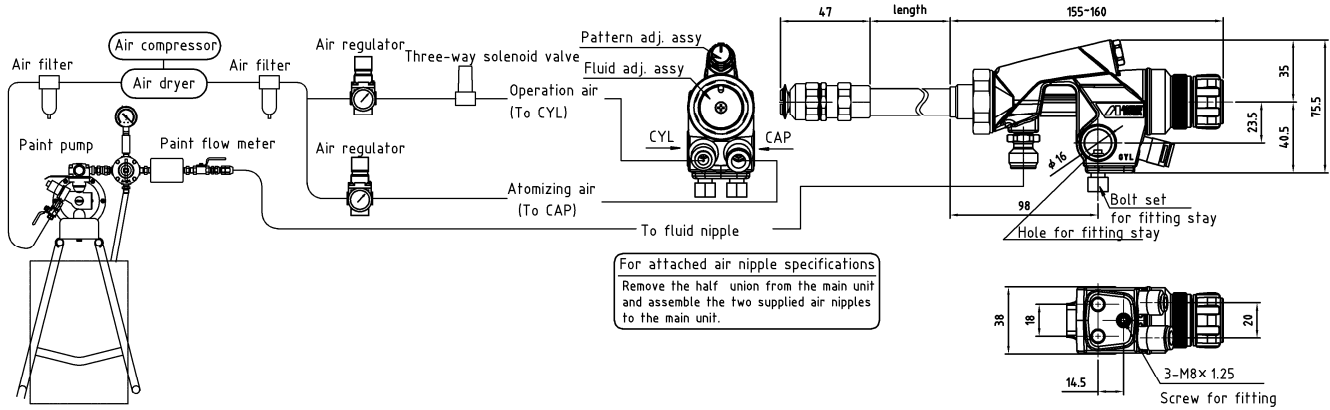
■ How to connect

CAUTION

- Use clean air filtered through air dryer and air filter. If not, dirty air can cause painting failure.
- Before using the spray gun for the first time, clean fluid passages with thinner to remove rust preventive oil. If not cleaned, the rust preventive oil can cause paint failure, such as fish eyes.
- The effective cross-section of three-way solenoid valve must be $\phi 4$ or more, and Atomizing air hose must have an inner dia. of $\phi 6$ or more, and the length must be 10 m or less. Narrow air passages or a longer air hose between three-way solenoid valve and gun can cause delay in start and stop operations of the spray gun.
- Securely fix hoses to the automatic gun. Hoses may come off or the container may fall, resulting in injury to the human body.
- Do not bump the tip of the air pipe set. Air pipe set damage may cause paint failure or damage to the human body.

- Step1 Attach the automatic gun to a gun stay, point it in the desired spraying direction, and then fix it.
- Step2 Connect the atomizing air hose to the side marked with (CAP) and the operating air hose to the side marked (CYL).
- Step3 Connect the paint hose to the paint inlet side.
- Step4 Supply thinner to the automatic gun. Spray and clean the fluid passage with thinner.
- Step5 Supply paint to the automatic guns and test spraying and adjust airflow, paint flow rate as needed.

【Air/Fluid-hose-connect-example】



■ Maintenance and inspection

⚠ WARNING

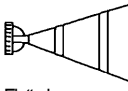
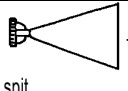
- First release air and pressure fully according to item No. 3 of “Improper use of equipment” of WARNING on page 2.
- Only an experienced person who is fully conversant with the equipment can do maintenance and inspection.

⚠ CAUTION

- Never use commercial or other parts instead of ANEST IWATA original spare parts.
- Never immerse the whole gun into liquid such as thinner.
- Never soak air cap set in solvent for extended period even if cleaning. It may cause defective pattern.
- Never damage holes of air cap a fluid pipe assy and fluid needle.

Step-by-step procedure	Important
1. After transferring the remaining paint to another container, clean the paint passage and air cap assy. Clean the paint passage by spraying a small amount of thinner.	1. Incomplete cleaning can fail pattern shape and uniform particles. Especially clean fully and promptly two-component paint after use.
2. Clean each section with brush soaked with thinner and wipe out with waste cloth.	2. Do not immerse the whole automatic gun or air cap assy in liquid such as thinner. Prolonged immersion can cause damage to components. When cleaning, never scratch the air cap assy, the tip and discharge holes of fluid pipe assy, and fluid needle assy.
3. Before disassembly, fully clean fluid passages.	3. During disassembly, do not scratch seat section.
(1) Disassemble air pipe assy and fluid pipe assy Loosen the flat-diameter 32 hexagonal part of the air pipe assy and the flat-diameter 9 dihedral part of the fluid pipe assy with a wrench.	(1) Remove fluid pipe assy after removing fluid pipe assy or while keeping fluid needle pulled, in order to protect seat section.
(2) Disassemble fluid needle set. You do not need to remove fluid adj. guide set from gun body. Remove fluid adj. knob and fluid needle spring, and then pull out fluid needle set from back of fluid adj. guide set.	(2) Be careful when handing tip of fluid needle set since it is sharp. Disassemble fluid adj. guide set as little as possible.
(3) Removal of piston set Entwist the screw at the rear of the fluid needle assy into the piston set and pull out the piston set.	Be careful not to damage piston packing when pulling out piston se
(4) Disassembly of air valve seat assy Use a commercially available box wrench (14mm).	Be careful not to damage O ring and seat part when disassemble air valve seat assy.
4. When you want to adjust fluid needle packing set, first tighten it by hand while fluid needle set remains inserted. Then tighten it further about 1/6 turn (60-degree) by spanner. When you remove needle packing set, do not leave plastic piece of needle packing set in the gun body.	4. If you tighten fluid needle packing set too much, fluid needle set will not move smoothly, resulting in paint leakage from tip of fluid pipe assy. Try to adjust it carefully while pulling trigger and confirming movement of fluid needle set. When you tighten it too much, first fully loosen it and then tighten it again carefully.
5. Turn pattern Adj. knob counterclockwise to fully open. And then install the pattern Adj. assy into gun body and tighten it.	5. When installing the pattern adj. assy, if the knob is not fully opened, the tip of the pattern adj. assy will hit the gun body first, causing damage.
6. Precautions for fluid adj. assy	6.
(1) How to install on the body With the fluid adjusting assy fully open, apply silicone-free grease or oil onto the threads. Turn the knurled part to install or remove.	(1) When installing the fluid adjusting assy, if the knob is not fully opened, the seat part of the needle valve assy tip may hit the fluid pipe assy and cause damage. If grease or oil is not applied to the threads, it may cause seizure of thread.
(2) How to adjust Turn the knob to make adjustments. As a guideline for fully closed, the gap between the guide and the knob is 2 mm. Be careful not to overtighten it any further.	(2) Overtightening the nozzle may cause deformation.
(3) Other Do not disassemble the Fluid Adj. assy	(3) If the paint adj. assy is disassembled, it may not be possible to reassemble it due to loss of parts.

Where to inspect	Parts replacement standard
1. Each hole passage of air pipe Assy and fluid pipe Assy	Replace if it is crushed or deformed.
2. Packing and O ring	Replace if it is deformed or worn out.
3. Leakage from seat section between fluid pipe Assy and fluid needle set	Replace them if leakage does not stop after fully cleaning fluid pipe Assy and fluid needle set. If you replace fluid pipe Assy or fluid needle set only, fully match them and confirm that there is no leakage.

Spray Pattern	Problems	Remedies
 Fluttering	(1) Air enters between fluid pipe Assy and tapered seat of spray gun body.	(1) Remove fluid pipe Assy to clean seat. If it is damaged, replace pipe Assy.
	(2) Air is drawn from fluid needle packing set.	(2) Tighten the fluid needle packing.
	(3) Air enters at fluid container fitting nut or fluid hose joint.	(3) Fully tighten joint section.
	(4) Insufficient seating of packing between fluid pipe Assy and extension pipe Assy.	(4) Check that the packing is included and that it is not damaged, then adjust the tightness of the cover.
 spit	(1) Fluid pipe Assy and fluid needle are not seated properly.	(1) Clean or replace fluid pipe Assy and fluid needle Assy.
	(2) The first-stage travel of trigger (when only air discharges) decreases.	(2) Replace fluid pipe Assy and fluid needle Assy.
	(3) Paint buildup inside air pipe Assy.	(3) Clean air pipe Assy.

■ How to operate

- Set the operating air pressure is 0.29 to 0.39 MPa (2.9 to 3.9 bar /42 to 56.6 PSI).
- Atomizing air pressure varies depending on the viscosity and properties of the paint, but should be set in the range of 0.2 to 0.34 MPa.
- Recommended paint viscosity differs according to paint property and painting conditions.
15 to 23 sec. / Ford cup#4 is recommendable.

■ Troubleshooting

Problem	Where it occurred	Parts to be checked	Cause	Remedy			
				R1	R2	R3	R4
Paint leaks	Fluid pipe Assy	Fluid pipe Assy and fluid needle set	Dirt or damage, wear on seat surface			○	○
			Loose fluid needle Adj. knob		○		
			Wear on needle spring				○
		Fluid pipe Assy and seat part of gun body	Insufficient tightening	○			
	Dirt or damage, wear on seat surface				○	○	
	Fluid needle packing set and fluid needle set	Fluid needle does not return due to overtightening of packing set		○		○	
Fluid needle does not return due to paint buildup on fluid needle			○	○			
Needle packing set	Needle packing set ~ Fluid needle set	Wear	○			○	
	Needle packing set	Insufficient tightening	○			○	
Paint does not come out	Fluid pipe Assy	Fluid Adj. knob	Insufficient opening		○		
		Fluid pipe Assy	Clogged			○	
		Paint filter	Clogged			○	○
			Insufficient tightening		○		
Air leaks	Air Cap	Piston	Dirt or damage, wear on seat surface			○	○
		Air valve seat set	Dirt or damage, wear on seat surface			○	○
			Settling of air valve spring				○
O ring	Damage or deterioration					○	

ANEST IWATA Corporation

3176,Shinyoshida-cho, Kohoku-Ku,
Yokohama 223-8501, Japan